

岩手県感染症週報

平成25年第3週(1月14日～1月20日)

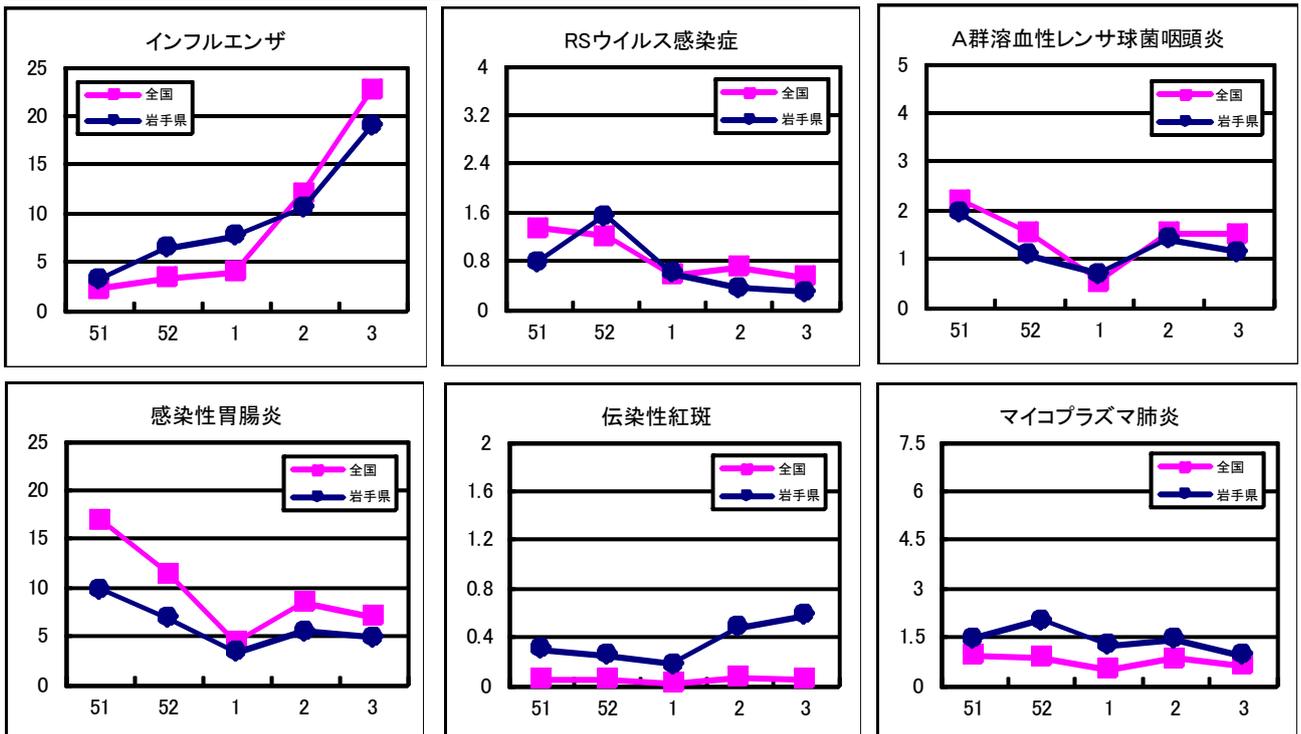
岩手県感染症情報センター

第3週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が7例（潜在性結核感染症例3例）ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・アメーバ赤痢の報告が1例ありました。患者は50歳代の男性です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・インフルエンザは、さらに増加し、定点あたり患者数は前週の10.55人から18.88人となりました。県内のほとんどの地区で注意報値（定点あたり患者数10人）を超え、また、学校等の休業措置も多数報告されています。予防には、咳エチケット（咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと、咳が出るときはマスクをすることなど）や、帰宅後の手洗い、うがいなどが重要です。また、症状がある場合は、早めの医療機関への受診が勧められます。
 - ・感染性胃腸炎は、前週よりやや減少しましたが、ノロウイルスによる食中毒事例や福祉施設での集団感染事例が発生しており、引き続き注意が必要です。予防には、帰宅後、食事前、用便後の石けんと流水による手洗いと、患者の便や吐物の適切な処理が重要です。
 - ・伝染性紅斑（リンゴ病）は、宮古地区で警報値（同2人）を超えています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		51	52	1	2	3		
インフルエンザ	岩手県	3.14	6.42	7.63	10.55	18.88	↗	☆
	全国	2.23	3.35	3.91	12.07	22.58		
RSウイルス感染症	岩手県	0.78	1.53	0.6	0.35	0.28	→	☆
	全国	1.34	1.21	0.57	0.69	0.53		
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.08	0.05	0.08	0.15	→	☆
	全国	0.48	0.43	0.18	0.36	0.23		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.93	1.08	0.68	1.4	1.13	→	☆
	全国	2.2	1.52	0.53	1.53	1.51		
感染性胃腸炎	岩手県	9.78	6.83	3.35	5.48	4.85	→	☆
	全国	17	11.39	4.36	8.44	7.04		
水痘	岩手県	1.95	1.2	1.63	1.28	0.63	↘	☆
	全国	2.16	2	1.67	1.92	1.12		
手足口病	岩手県	0.58	0.43	0.2	0.15	0.15	→	☆
	全国	0.36	0.32	0.13	0.16	0.19		
伝染性紅斑	岩手県	0.3	0.25	0.18	0.48	0.58	→	☆☆
	全国	0.05	0.05	0.02	0.07	0.05		
突発性発疹	岩手県	0.4	0.35	0.2	0.33	0.23	→	☆
	全国	0.47	0.42	0.19	0.5	0.46		
百日咳	岩手県	0.05	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.02	0.01	0	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.05	0.03	0	0	0.03	→	
	全国	0.05	0.04	0.01	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.43	1.35	0.63	1.05	0.88	→	☆
	全国	0.37	0.28	0.19	0.34	0.23		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.07	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.5	0.64	0.43	0.5	→	☆
	全国	0.63	0.55	0.36	0.69	0.46		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0.05	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.47	2	1.26	1.42	0.95	→	☆
	全国	0.94	0.89	0.52	0.83	0.62		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.04	0.01	0.05	0.03		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					全国		
	51	52	1	2	3	累計	3	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者数	8 (2)	15 (8)	5 (2)	1 (1)	7 (3)	13 (6)	276	850
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	6
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	9	24
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	5
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	4
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	2
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	3	16
	デング熱	0	0	0	0	0	0	4	8
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	3	5
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	12	36	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)						全国	
		51	52	1	2	3	累計	3	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	1	17	39
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	7
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	5	16
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	10
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	11	45
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	14	40
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	7
	風しん	0	0	0	0	0	0	44	154
	麻しん	0	0	0	0	0	0	6	10

今注目の感染症

デング熱

デング熱は、デングウイルスが感染しているネッタイシマカとヒトスジシマカに刺されることによって感染する感染症です。症状は、感染3～8日後、突然の発熱で始まり、頭痛特に眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴います。発症後3～4日後から発疹が出現します。また、出血傾向を示す重症型のデング出血熱を起こすことがあります。

発生地は、媒介するカの実在する熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国ですが、アフリカ、オーストラリア、中国、台湾においても発生しています。日本においても1942から1945年にかけて、神戸・大阪・広島・呉・佐世保・長崎などで約20万人に上る流行がありました。現在は、日本国内での感染はありませんが、海外で感染し、国内で発症する例（輸入症例）があります。図は、1999年から2012年9月9日まで届出された患者報告数で、すべて輸入症例です。

岩手県では、2009、2011、2012年に1例ずつ届出されています。

流行地への旅行の際は、個人の感染予防ということだけでなく、デングウイルスを日本国内に持ち込まないためにも、カに刺されないよう十分に注意（長袖・長ズボンの着用、ディート：DEETが含まれる昆虫忌避剤の正しい使用）することが重要です。

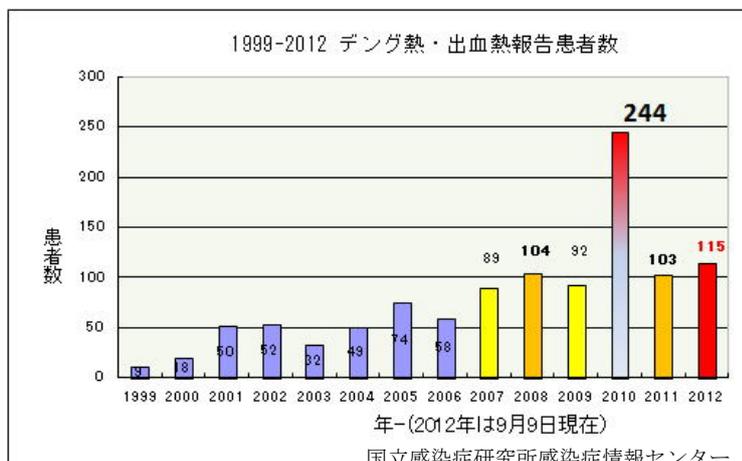


図 デング熱患者報告数

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

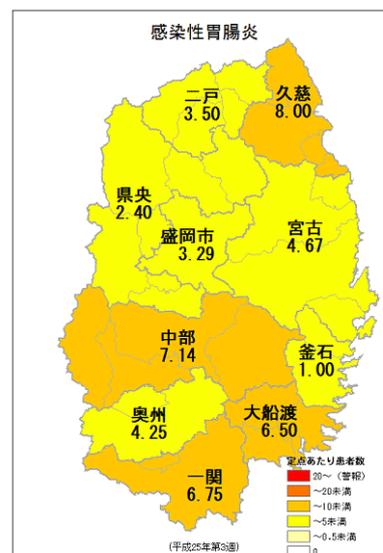
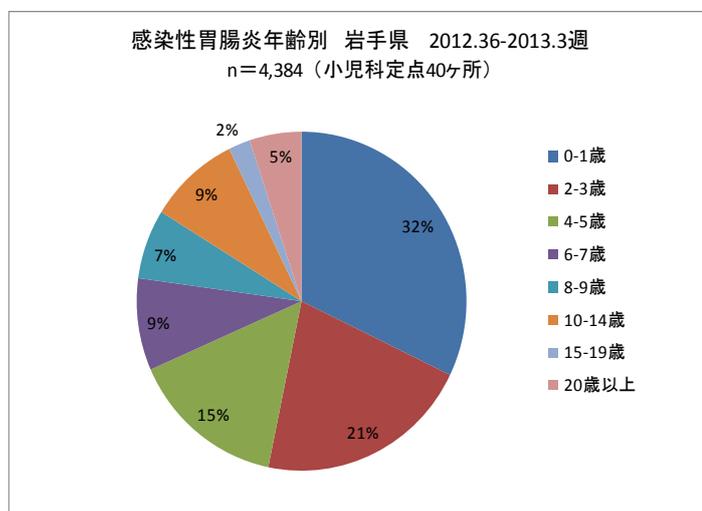
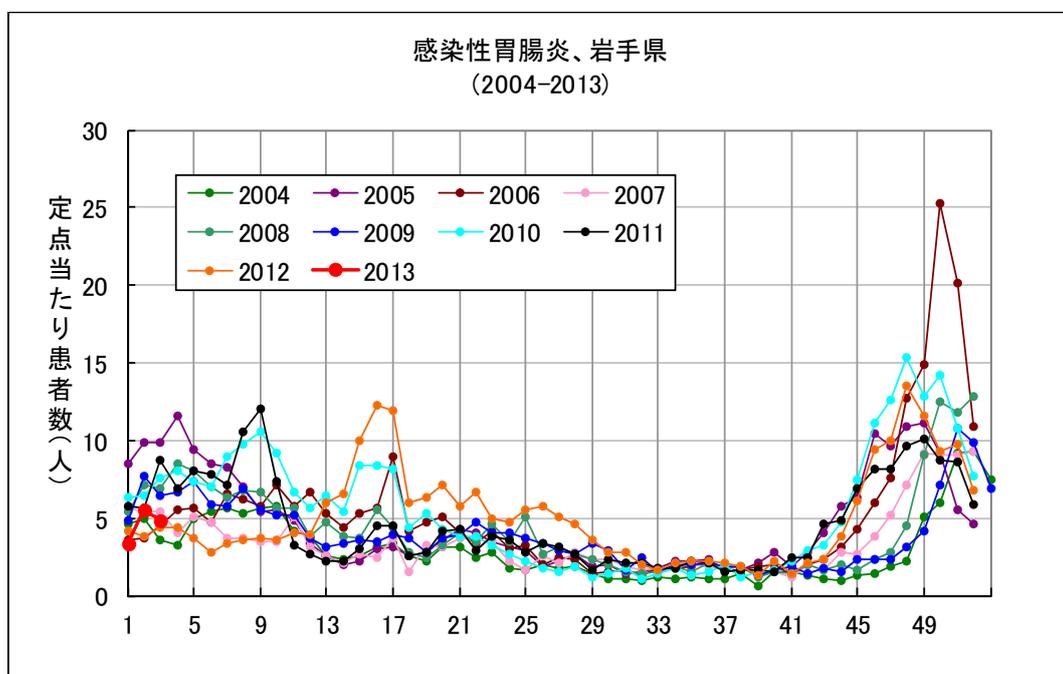
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いため、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、
「医療従事者・施設スタッフ用」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>



今注目の感染症 (つづき)

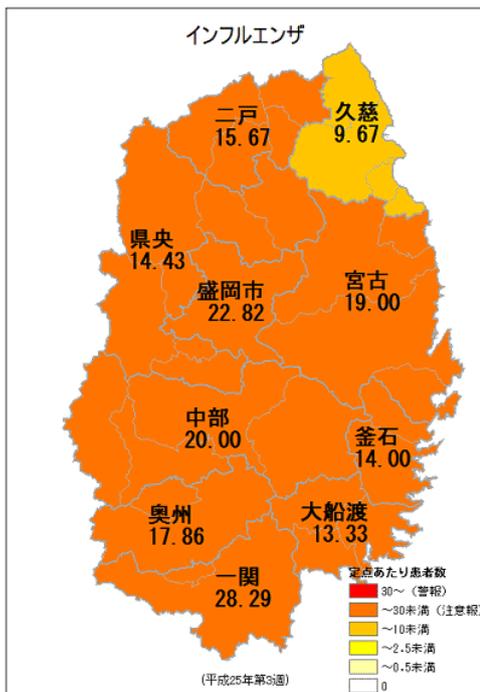
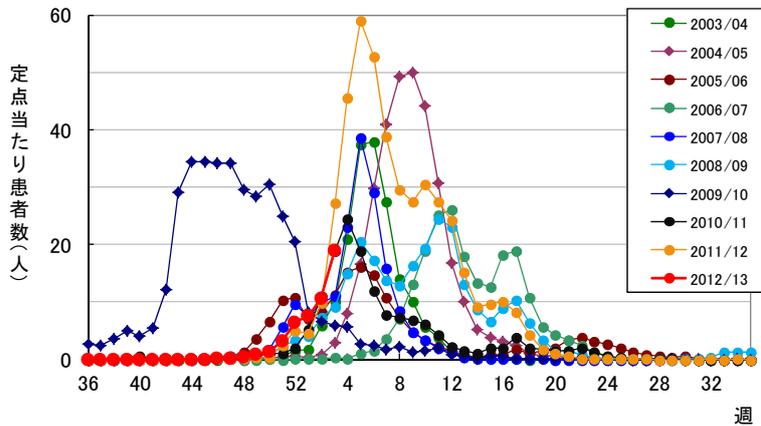
インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。潜伏期間は1～3日間で、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続きます。約1週間ほどで軽快するのが典型的な症状ですが、いわゆる「かぜ」にくらべて全身症状が強く、重くなりやすい疾患です。

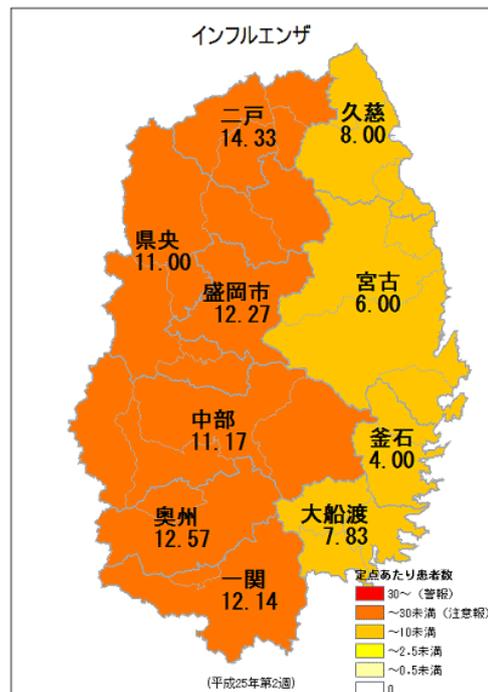
インフルエンザは例年、12月頃から流行が始まり、1月後半から2月初めにピークを迎えます。岩手県での今シーズンの発生状況ですが、第50週には流行の開始のめやすである定点あたり患者数1.0人を超えました。平成25年第3週には、18.88人と注意報値(10人)を超えた前週よりさらに増加しました。今後の感染拡大の動向に注意が必要です。

感染経路は、くしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による感染と、接触感染とされています。予防には、流行前のワクチン接種、流水・石けんによる手洗い、咳エチケット、湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取などが重要です。なお、ワクチン接種による効果が出るまでに2週間ほどかかりますので、早めの接種が勧められます。

インフルエンザ、岩手県



第3週



第2週

病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

集団感染情報

- 感染性胃腸炎の集団発生について（1月17日発表分）
奥州市内の障害者支援施設（利用者数40名、職員数32名）
 - ・1月13日（日）から1月17日（木）にかけて13名（利用者10名、職員3名）に症状（嘔吐、下痢等）
 - ・有症者2名中2名（利用者2名）からノロウイルスを確認
 - 食中毒の発生について
奥州市内の飲食店
 - ・1月12日（土）から1月14日（月）にかけて、2グループ18名のうち8名が同様の症状（嘔吐、下痢等）
 - ・共通食品は当該飲食店が提供した食事のみで、複数の患者からノロウイルスが検出された。
 - ・原因食品は、1月11日（金）の会食料理
花巻市内の飲食店
 - ・1月13日（日）から1月15日（火）にかけて、5グループ94名のうち29名が同様の症状（嘔吐、下痢等）
 - ・共通食品は当該飲食店が提供した食事のみで、複数の患者及び従業員便からノロウイルスが検出された。
 - ・原因食品は、1月13日（日）の昼食
 - インフルエンザによる学校等の休業措置について
 - ・岩手県発表 22件
 - ・盛岡市発表 5件
- 詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1&pnp=3324&pnp=4104>

医療機関からの情報

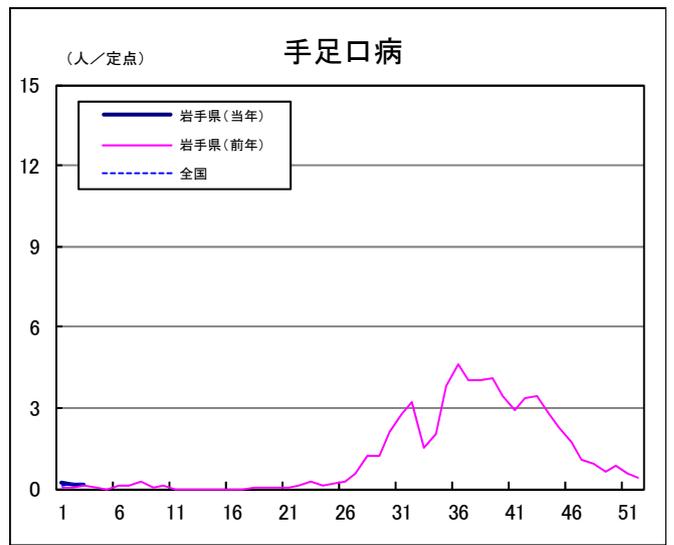
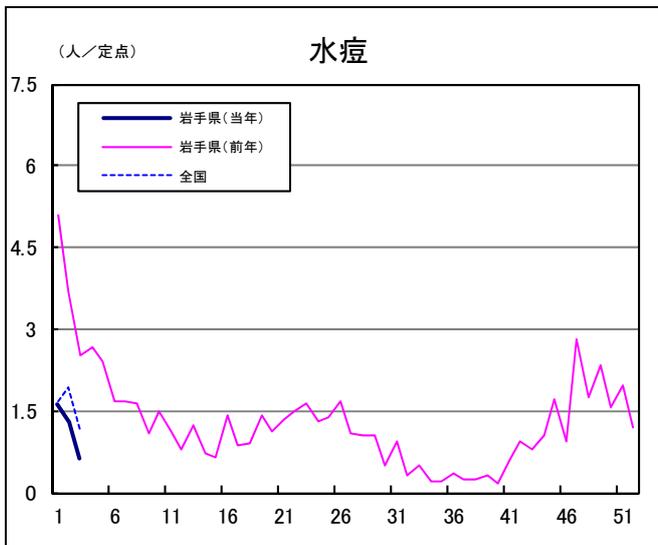
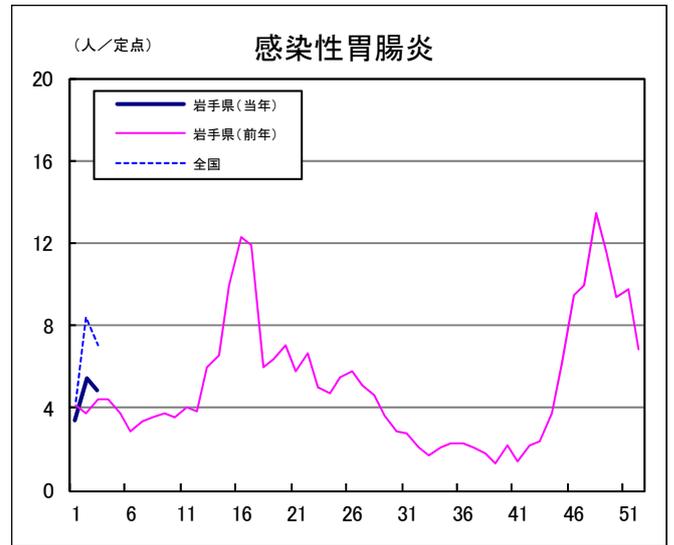
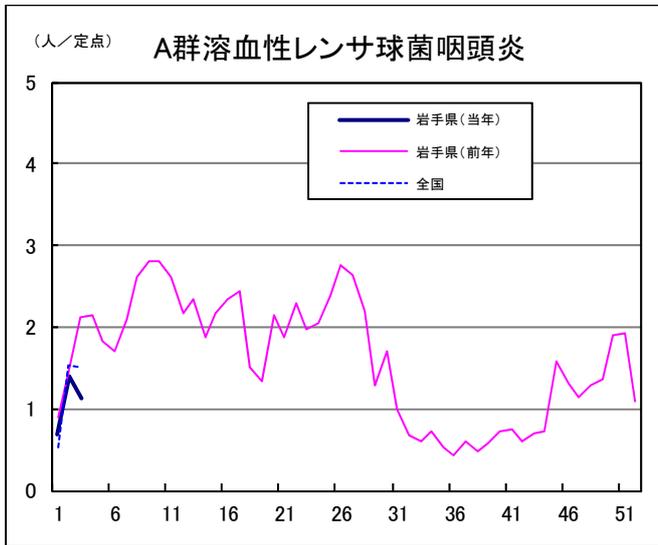
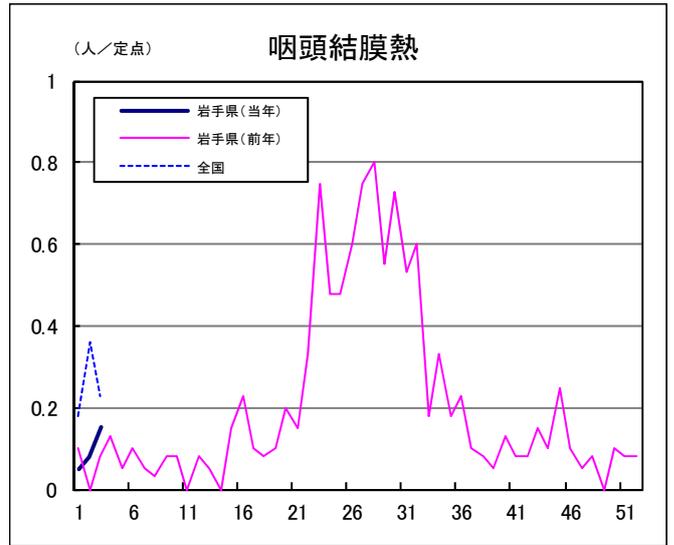
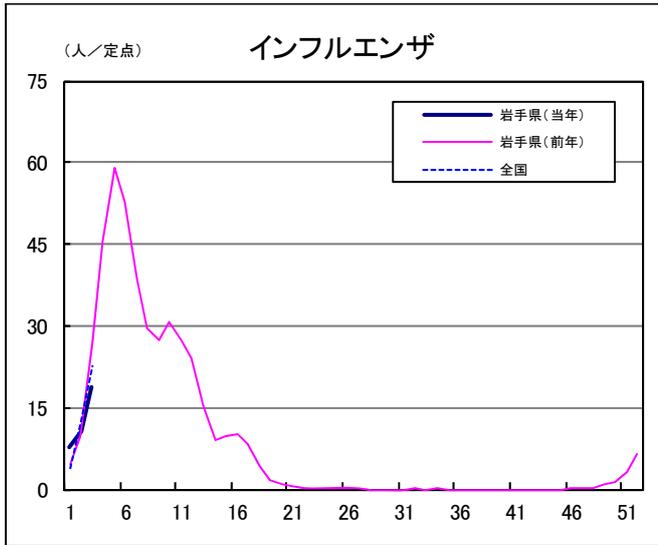
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

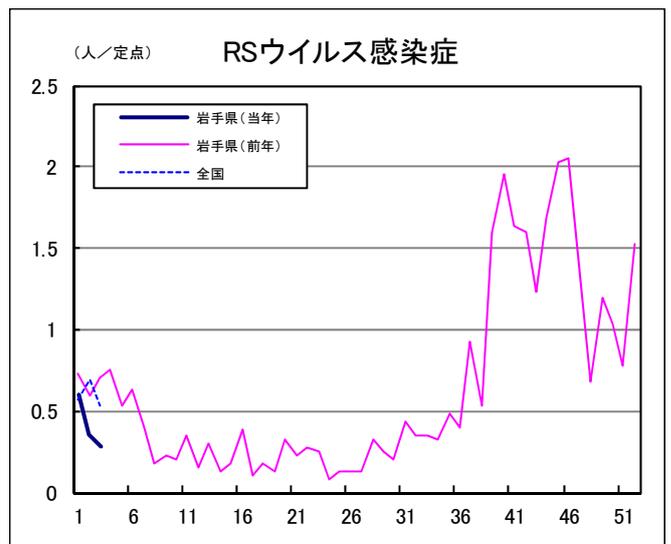
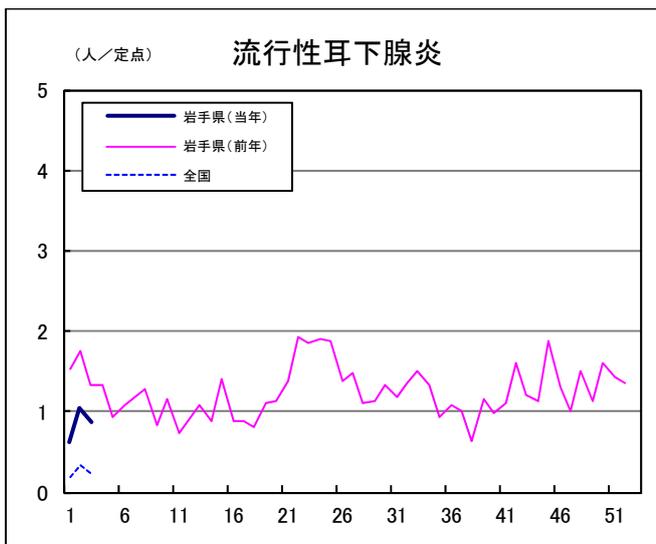
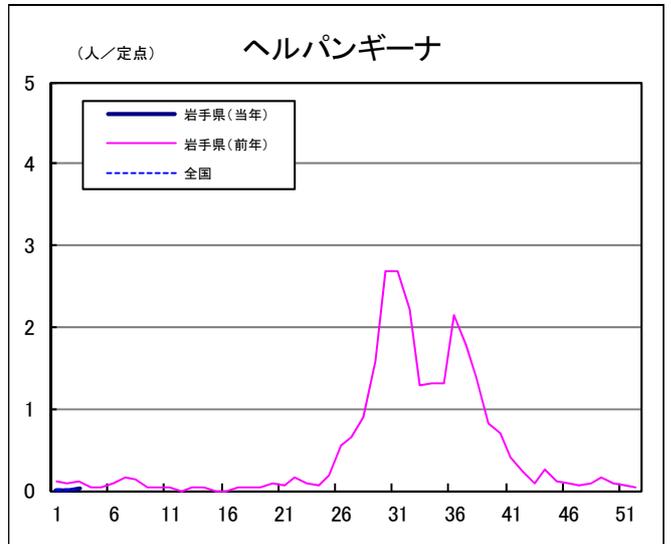
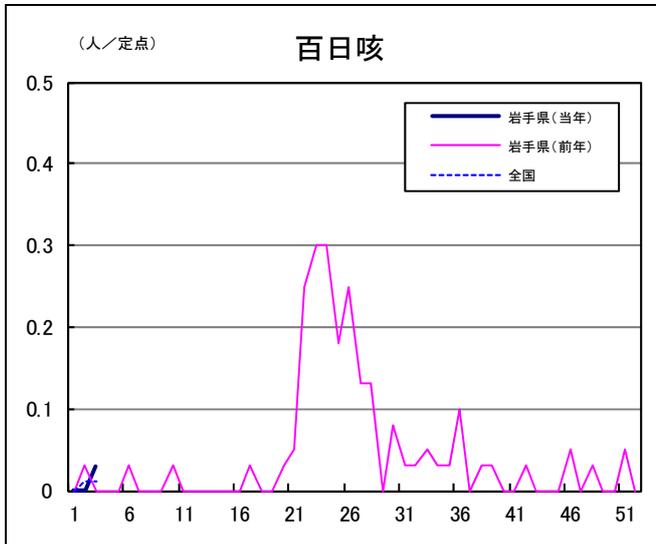
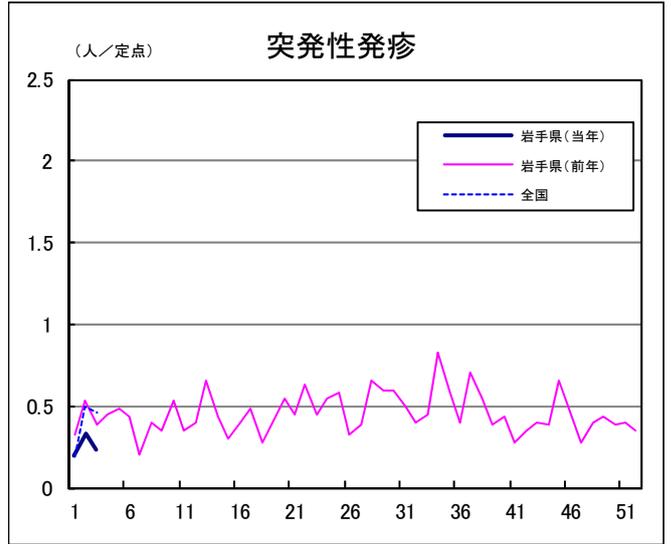
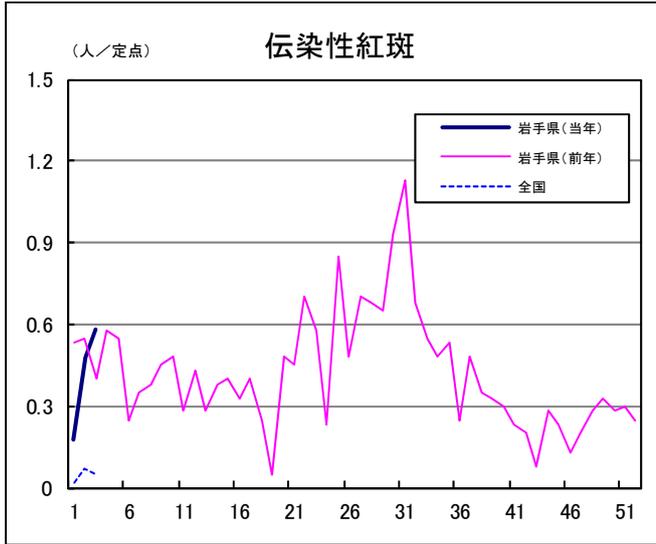
Q & A

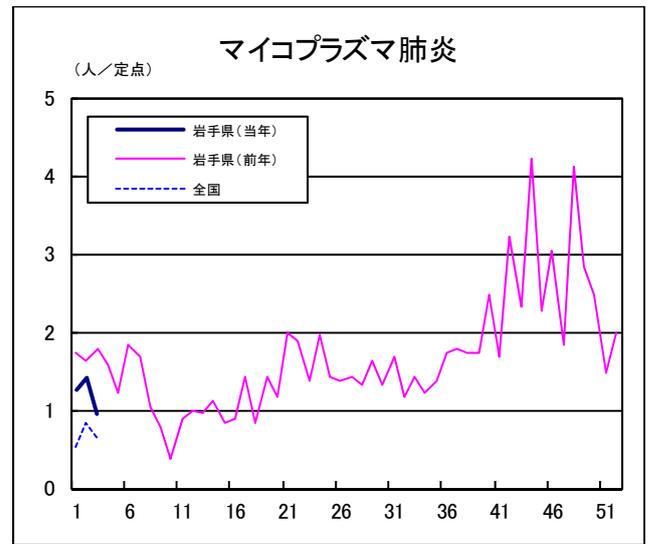
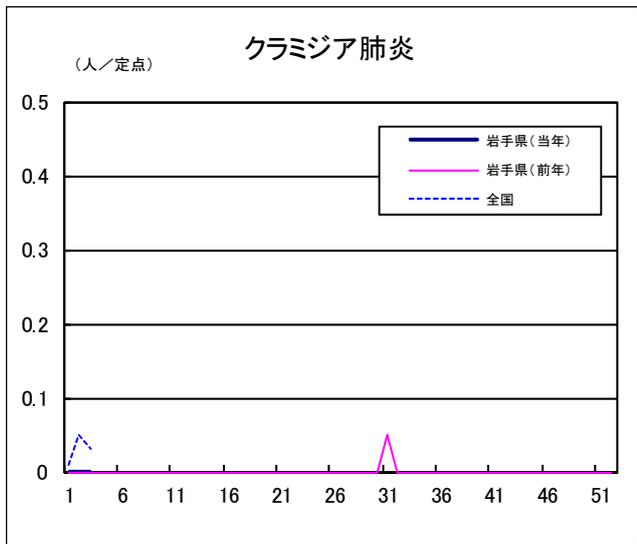
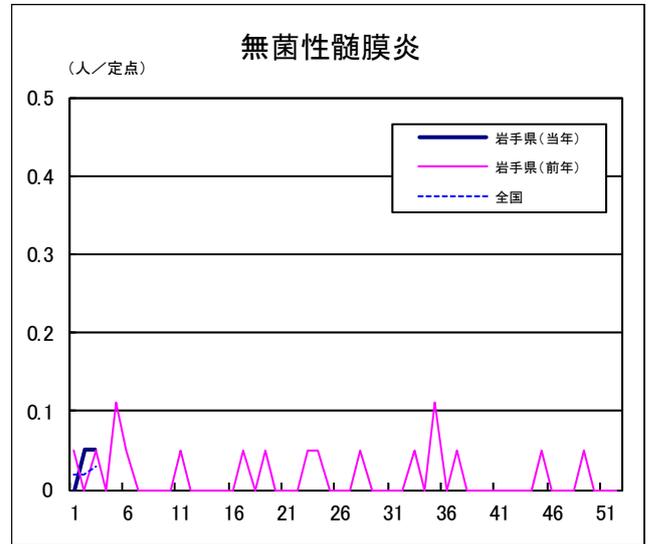
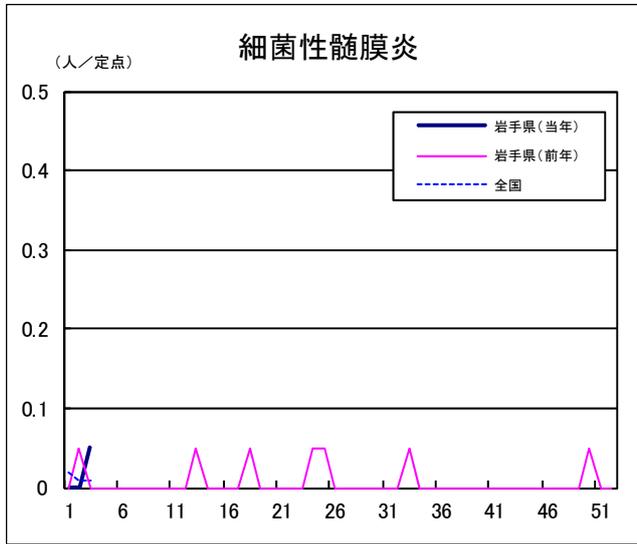
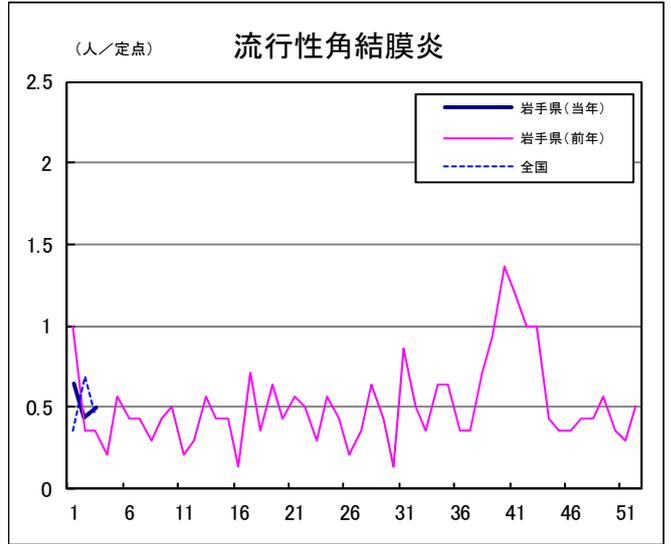
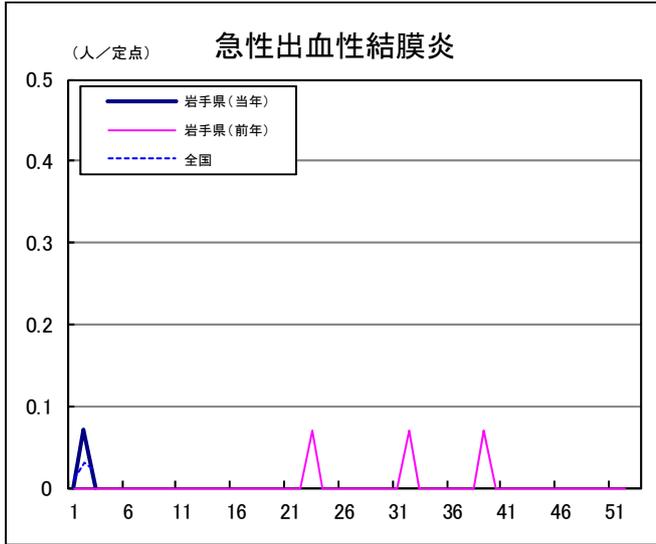
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第3週 平成25年1月25日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>